

地域圏情報誌データベース構築にかかわる情報組織化の一考察

志村尚夫 (図書館情報大学) 田中芳彦 (長崎純心大学)
鹿島かおり (原子力システム) 高沢純子 (山種システムサイエンス)

本研究は、地域圏情報誌によるデータベース構築事例から検索と分類等の諸相について考察を試みたものである。現代のコミュニティ社会の中で地域に密着した情報誌の特性を挙げ、その特性を述べた。次にその誌面に掲載された記事等の情報をいかにとらえ、それらをデータベース構築のデータの扱い上分類・検索面から論じたものである。

A analysis of organize of Town Database

Shimura Hisao (University of Library and Information science)
Tanaka Yoshihiko (Junsin College of Nagasaki)
Kasima Kaori (Atomic energy System)
Takasawa Junko (Yamadane System Science)

We developed the Town Database system. This is a database system of information-magazines with the local community. In Community of our own time, we request information-magazines are related to the local community. In this papaer, we deal with characteristics of this magazine, and consider problems of a retrieval and a classification of the Town Database system.

1. はじめに

わが国において、最近地域文化あるいは地域の町おこし、村おこしが唱えられ、また生涯教育が叫ばれている。地域中で身近なコミュニティ社会で、どんな情報が望まれているのか、そして自分の町や市でどんな情報のニーズが求められているかについて、本研究では、地域の中での情報誌、タウン誌に視点をあてて、その特性を活かしたデータベースの構築上の分類や検索について論を進めるものである。

2. 地域情報化

2. 1. 地域情報化の経過

地域情報化の動きは、1980年代前半から中央省庁の情報化施策と⁽¹⁾、地方公共団体において行われてきた地域情報化の方策を具体的に検討してきたからである。これは、地方の町おこし、村おこしの地域振興とどう取り組むかということと、一方国でも第四次全国総合計画に見られるように、産業面だけでなく、文化、情報の要素に重視する方向が、地域情報化の底流にあったと言えよう。

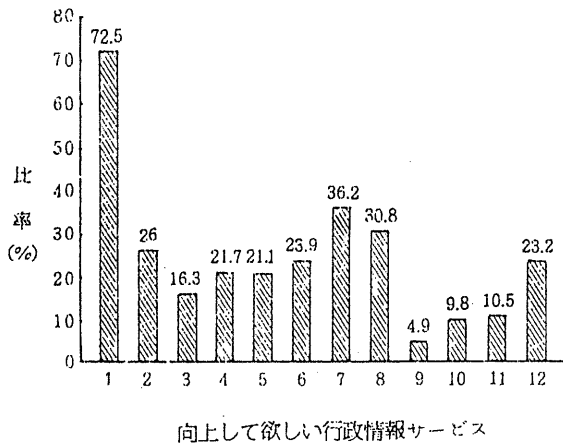
地域情報化は、次の4つの視点から、論議できよう。それは、社会活動の機能によって、1. 行政情報化、2. 教育情報化、3. 生活情報化、4. 産業情報化に分類できる。本研究では、1と2、3の情報化をめぐるものを地域情報誌の記事やトピックをどう取り出して、そのデータベース化を試みるものである。

ここで述べる地域情報化は、「地域」を単位とした情報化を意味する。その地域は広域行政からみる県単位のものはあるが、私達市民が、一日の生活行動範囲を地域と考えるのが普通である。文化的催し物を見に行ける所、ショッピングに出かける市域などが例に挙げられよう。これは、コミュニティと言われ、日本では、市町村と考え、イメージすることが多く、また地区(district)というのは学校区域などが想い浮かぶであろう。

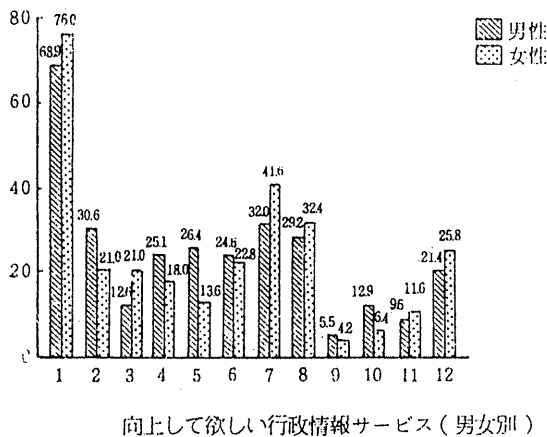
しかし、我々がコミュニティの通念であった近隣との親密性からほど遠く、昨今は地縁的集団の崩壊により、個人あるいは家庭でメディアを通して、地域の情報を収集する状況にある。これは、M. M. ウェーバーの言う場所のコミュニティと関心のコミュニティとなり⁽²⁾、日常圏の利便性や生活情報と文化・教養・イベント情報は更に遠近を問わずメディアを通じて、住民の拡大した要求を潜在しているのが、現代地域社会の状況であろう。

2. 2. 地域文化状況について

最近、地域住民に対する、行政、生活、文化・教育支援情報において、何が住民側から求められているかの調査がある。より強い行政情報サービスに対する要望は、第1位は、医療・福祉情報サービスであるが、第2位に文化・教育情報サービスであることが多い⁽³⁾。下記の図は平成2年度に大分県で実施された県民へのアンケート調査による「地域情報化に関するアンケート調査」の問10の[※]向上させて欲しい行政情報サービス”の項である。



- 1 医療・福祉情報サービス
- 2 道路交通情報サービス
- 3 求人・求職情報サービス
- 4 総合防災情報サービス
- 5 農林水産業等生産情報サービス
- 6 観光・リゾート情報サービス
- 7 文化教育情報サービス
- 8 公共施設利用情報サービス
- 9 文献情報サービス
- 10 技術情報サービス
- 11 人材情報サービス
- 12 行事・イベント情報サービス



さらに、生涯教育についての県の取り組みへの要望調査で、平成4年度の兵庫県民全世帯アンケートによれば(複数回答)、文化活動や学習で利用できる施設の充実(52.9%)、講座などの学習情報の提供(27.2%)、専門知識・技術の修得のための講座の充実(26.2%)が県民からの高い要求となっている⁽⁴⁾。

現在、自治体行政側では、文化・生涯学習の町づくりをどのように推進するか、いずれの自治体もアイデアを競い合って、担当部課の設置や、学習センター作りに努力しているのが現状である。これらはまた、情報・通信ネットワークやニューメディアの急速な発達によって、地域社会への情報サービスは、より複合的なものになってきている。

3. 地域情報誌の性格

3.1. 情報誌の意義

地域情報誌は「不特定多数を受け手とするマスメディアと、特定少数を受け手とするマスコミの間の中間範囲のコミュニケーションとその雑多なメディア」と言える⁽⁵⁾。東京発地方行きの情報ではなく、その地域発地域行きの記録メディアを縦軸とすれば、豊かな生活実現願望と文化創造型ライフサイクルの現代市民生活のトレンドを横軸とする両面の特色から、地域情報誌のアイデンティティがあると言える。

地域情報誌は別名タウン誌と呼ばれ、初期より現在までの流れは、下記の如くまとめることができる。

- 第1世代 昭和30年代 タウンPR誌 商店街のPR誌的傾向
- 第2世代 昭和40年代 タウンサロン誌 境界のコミュニティ誌的傾向
- 第3世代 昭和40年代後半～ タウン情報誌 中広域にわたって多量部数の発行

以上の3つの段階に区別できるが、現代は、対象別の情報誌が発行されるようになった。すなわち、女性向けの情報誌が民間発行のもの、例えば「女性とくらし」、大阪市内、A3版、12ページの旬刊で既に1680号になっているもの、自治体で、女性情報誌「シンフォニー」徳島市が昨年12月刊行のもの、カラー印刷、ソフト調で編集されている例が多い。

3.2. 地域情報誌の特色

地域のメディアとして位置づけられるものに、下記の図のように典型的にまとめることができる⁽⁶⁾。

		「地域メディア」の諸類型	
		「メディア」の類型	
		コミュニケーション・メディア	スペース・メディア
「地域」の類型	地理的範囲をともなった社会的単位	自治体広報 地域ミニコミ紙 タウン誌 地域キャブテン CATV 県紙 県域放送	公民館 図書館 公会堂 公園 ひろば
	機能的共通性にもとづく社会的単位	サークル誌 ボランティアグループ会報 各種運動体機関紙 パソコン・ネットワーク	クラブ施設 同窓会館 研修所

上記の図の類型のうち、コミュニケーションメディアの民間主体発刊の地域マスコミ誌とタウン誌+自治体の生涯学習情報誌（広報）を本研究の地域情報誌に設定しよう。

地域情報誌は、行政主体のものの方角づけと民間主体のものの方角づけとを挙げれば次のようになる。

A. 行政主体型情報誌の方角づけ

- ・家庭・生活を取りまく情報環境の充実
- ・情報提供による教育・文化環境の向上
- ・住民参加型コミュニティ社会の構築⁽⁷⁾

B. 民間主体の情報誌の方角づけ

- ・マスメディアに対する独自の小まわりのきくメディアとしての存在
- ・地域の個別情報ニーズの対応機能
- ・ファッション的レイアウトと主婦向け編集の特色

以上のように情報誌の方角づけを述べるができるが、これは地域情報誌データベース構築の一つの、考慮すべき要素として考えたい。

4. データベースの構築

4.1. データベースの目的

本データベースは、日常行動圏における地域情報支援データベースを作ることを目的としたものである。具体的には、地域情報誌やタウン誌面の記事データベースと言ってよい。このデータベースは、コンパクトなシステム構築で、かつ図表、文字例双方も手軽に検索できることを考え、MS-Windows上で作ることにした。実際の地域は、つくば研究学園都市を含む、茨城県南部地域の土浦市、牛久市、竜ヶ崎市周辺地域で、人口約50万前後を対象としたものである。

この情報誌データベースは、次の3つのポイントを設けることにした。

- (1) 地域ユーザに視覚的効果を考え親近感をもたせる。一覧表、地図、ヘルプなどの参照ボタンを活用する。
- (2) そのユーザに簡易性のイメージをもたせる。すなわち、検索画面のみで検索ができ、説明するコトバもやさしいものにする。
- (3) 自分達が参加しているメディアという自覚をもつような伝言板的な画面にする。

以上の3点を挙げたが、これは、高齢者や低年齢層などを含めたさまざまなユーザをもつ情報誌データベースの留意すべきことである。

4.2. 収録情報誌など

つくば市を中心とする地域情報誌は次のものがある。

A. 民間発行情報誌（通称タウン誌）

- ・「常陽リビング」毎週土曜日発行 発行部数 181,500部
- ・「常陽ウィークリー」毎週金曜日発行 発行部数（不明）
- ・「アイリビング」毎週土曜日発行 発行部数 121,000部
- ・「ブレラン」毎週第1月曜日発行 発行部数 115,000部

B. 自治体広報誌

- ・「市政つくば」毎月の第1と第3日曜日発行 配布部数 60,000部

つくば市の住民は、従来の地元住民の3世代型家族の中老年層の住民タイプと、勤務地として集まってきた核家族型の新住民タイプと、学生など独身者によって構成されているが、後者は、比較的若年層が中心となっており、近隣との交流がほとんどない大都市型コミュニティに近いイメージである。従って、地域の生活情報やイベントや文化的催物などのニュースソースは情報誌によって相当量入手しているもとと推察されよう。

本研究のデータベースはの収録情報誌として、「常陽リビング」と「市政つくば」を選んだ。前者は、生活・文化情報を主体とするタウン誌の特色で、後者は、行政広報誌の特色から選んだものである。

「常陽リビング」の見出し記事を拾ってみると、12ページだての”4月3日号”には花まつり情報とイベントガイド（1面）

住宅取得情報
 健康情報、休日当番医の案内
 サークル案内
 趣味・教養講座
 スポーツイベント
 映画のストーリー案内
 海外旅行ニュース
 野菜の知識と料理、無農薬野菜
 各種セミナー案内
 商品知識とその案内

以上のような記事が載っている。マスコミの日報新聞や行政広報誌と違って、親近性を訴えた身近な記事とファッション的なレイアウトの編集である。

4.3. データベースのテーブル構成

本データベースは、地域に即した生活・文化情報の地域情報誌の記事を中心としたものを住民ユーザーに提供するために構築したものである。システムを定義し、リレーショナルのテーブルを作るために、どんな情報が必要でありどのような要素が考えられるか、下記に記事区分を行ってみた。

- ①施設情報 ②地域・地区の情報 ③団体・サークル情報 ④行事・催物案内情報
 ⑤各種講座・教室案内情報 ⑥行政情報 ⑦保健情報 ⑧その他の情報

以上の8つの記事区分とキーワード、主題等と、さらに図表・写真に関する扱いとを考慮して次のテーブルを構成してみた。(テーブル構成図参照)

4.4. K I J I (記事) テーブル

このテーブルは、各種番号や記事内容を要約し、収録したメインテーブル的な役割をもつものである。下記にその要点を挙げてみた。

フィールド名	フィールドタイプ	設定	フィールドデータ
記事番号	数値文字列	フォーマット：999...	索引
掲載誌	チョイス	形式：リスト	索引
ページ	数値文字列	フォーマット：99(記事番号の切り出し)	バーチャル
記事タイプ	チョイス	形式：リスト	索引
見出し	文字列	フィールド長：80	
図表・写真 内容	文字列 メモ	フィールド長：15(イメージフィールド)	索引 フィールド長：4000

K I J I テーブルは、全部で12個のフィールドから成り立っている。なお、図表・写真のイメージフィールドにはイメージファイル名が入っているため、フィールドタイプは文字列になっている。

4.5. SYUDAI (主題) テーブル

主題テーブルは、大分類のS-CODE1テーブル
中分類のS-CODE2テーブル
小分類のS-CODE3テーブル

の3つのテーブルから成り立っている。3つのテーブルフィールドはほぼ同一様式になっている。

例 S-CODE2の中分類テーブル

フィールド名	フィールドタイプ	設定	フィールドデータ
主題中分類番号	数値文字列	フォーマット: 99	索引
主題中分類	文字列	フィールド長: 10	索引
主題中分類ヨミ	文字列	フィールド長: 14	索引

5. 掲載記事等の情報化と分類

5.1. 分類の考え方

本データベースの構築において、情報誌に載っているさまざまなK I J Iや主題、項目、地域などを分類・コード化し、それらから検索可能にし、ユーザに情報提供するためにどのような分類的な考えをするかについて述べたい。

地域情報誌のデータベース構築において、そこで扱う情報やデータの分類、配列、検索を効果的にこなえるよう、以下の4つの分類化もしくはコード化を考えてみた。

- | | |
|--|---|
| 1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">順位分類
(データの発生順や
大きさの順)</div> | 2) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">区分分類
(ブロック化
地域順)</div> |
| 3) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">グループ種別分類
(グループに種別化)</div> | 4) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">階層分類
(体系的、階層化)</div> |

上記の4つのパターンを、今回のデータベース構築で情報やデータに対し以下のように具体的に援用してみた;

- 1) 順位分類 → 町の伝言板等の掲載年月日のコード化に適用
- 2) 区分分類 → 地域、市町村分類に適用
- 3) グループ種別分類 → 記事・コーナー名区分に適用
- 4) 階層分類 → 主題分類(表)に適用

5.2. データと分類

(1) 階層分類の適用例

5.1. の4) 階層分類の適用例として、主題分類の場合大—中—小の階層は次のようになる。

4 生活 (大分類)

↓

4 2 行事・催し物 (中分類)

↓

4 2 2 祭り

これを画面上に中分類一覧として、例を出してみた。

主題中分類一覧
(小分類を参照したいときは番号をいれてから、下のボタンを押してください)

参照したい中分類の番号を選んでください:

生活

番号	主題中分類	よみ
40	生活	セイカ
41	趣味・娯楽	シュミゴラク
42	行事・催し物	ギョウジ ヨウシモノ
43	公共施設	コウキョウシヤク

(2) 検索画面について

次に主題分類の”422 祭り”からの検索や情報誌の形態から等の検索例を挙げてみた。422 祭り の分類から”祇園””祭り””みこし”がしぼられてゆき、また掲載誌”市報つくば”からコーナー名の”夏祭り案内”に検索がしぼられてゆくようにした。(「検索画面」参照)

実際に検索すると次の結果が得られる。(「簡略表示画面」参照)

検索画面

条件をつけたい場所のみ、うめてください。

94/01/29

2:45 AM

地図

説明

終了

●日付から検索

(記事内容の実施・開催日からの検索は キーワード検索で)

入力例: 93/07/15 (西暦下2桁/月/日)

93/07/* (7月の記事全部)

掲載年月日: 93/30/71

●情報誌の形態から検索

記事タイプ: 必要情報のみ概要記事

掲載誌: 市報つくば

コーナー名: 夏祭り案内

●目的から検索

イベント、行事

●主題・キーワードから検索

キーワード

主題番号 主題名
422 祭り

振国
祭り
みこし

●地域からの検索

大地域: 茨城県

(茨城県のみ)

地域番号 郡市町村名 よみ
000 つくば つかば

(つくば市のみ)

地区番号 地区名 よみ
143 小田 こだ

検索

簡略

詳細



カレンダー

カレンダー

検索された情報は、34件です。

? 簡略表示画面

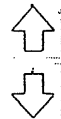
94/01/26 4:37 PM

説明

終了

記事番号: 93071-50410	掲載年月日: 93/07/15	4 頁	掲載誌: 市報つくば
目的: イベント、行事 レジャー、娯楽、趣味			
コーナー: 夏祭り案内	主題:		
見出し: 北条祇園祭 7月24日(土)、25日(日)	番号 主題名 422 祭り		
記事番号: 930715-00411	掲載年月日: 93/07/15	4 頁	掲載誌: 市報つくば
目的:			
コーナー: 夏祭り案内	主題:		
見出し: 日枝神社茅の輪祭 7月30日(金)	番号 主題名 422 祭り		
記事番号: 930715-00412	掲載年月日: 93/07/15	4 頁	掲載誌: 市報つくば
目的:			
コーナー: 夏祭り案内	主題:		
見出し: ノノ矢八坂神社祇園祭 7月25日(日)	番号 主題名 422 祭り		
記事番号: 930615-00702	掲載年月日: 93/06/15	7 頁	掲載誌: 市報つくば
目的: 街の話題 イベント、行事			
コーナー: 地域の話題	主題:		
見出し: 無病息災を祈願。お釈迦様の花祭り	番号 主題名 422 祭り		

検索された情報は、6件です。



検索画面へ

詳細

印刷

6. まとめ

地域圏情報誌データベースの構築において、まず地域の地理的条件や住民の日常生活感覚からの情報を十分に知ることが肝要である。情報誌の収録対象もさまざまな角度からの考え、日刊新聞の地域社会面まで考えることも必要であろう。なお、本データベースは必要情報の検索のみならず、町の伝言板の機能も加えたが、広い視野からの住民の多様なニーズに答えられるよう今後さらに努力してゆきたい。

[参照文献]

- (1) 田中芳彦, 志村尚夫. 地域情報化の状況とコミュニティ(地域情報集団)向け情報システムの要件. 「情報の科学と技術」43巻10号(1993) p.933-936.
- (2) 吉見俊哉. メディア変容と電子の文化. 「思想」No.817(1992).
- (3) 大分県. 地域情報化に関するアンケート調査結果 平成2年 76p p.39-40.
- (4) 兵庫県. 明日を拓く生涯教育-兵庫県生涯学習基本構想-平成5年3月 47p p.23-24.
- (5) 田村紀雄. タウン誌出版: コミュニティメディアへの招待. 理想出版. 1980.
- (6) 竹内郁郎, 田村紀雄. 地域メディア. 新版. 日本評論社.
- (7) 神奈川県. かながわ情報プラン 平成3年 94p p.76.
- (8) EXPRESS DATABASE for Windows. Dynaware. 1993.